

エコアクション21

環境経営活動レポート

(56期：2023年11月1日～2024年10月31日)



発行 2025年1月31日



目次

1. 組織の概要	3
2. 環境方針	7
3. 中長期環境目標（全社）	8
4. 環境目標とその実績	9
5. 環境活動計画及びその取組み結果と評価・次年度の取組み	10
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	21
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	22

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者氏名

株式会社 オオスミ

代表取締役 大角 武志



(2) 所在地（認証・登録範囲）

本 社 神奈川県横浜市瀬谷区五貫目町20番地17

TEL：045-924-1050（代）

FAX：045-924-1055

東京支店 東京都千代田区神田猿楽町二丁目1番14号

川崎支店 川崎市宮前区鷺沼3-1-37

大和支店 大和市福田2丁目25番地1

福島支店 福島県郡山市富田町字稲川原67番地

千葉営業所 千葉県鎌ヶ谷市西道野辺13-41-101

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 岩崎 伸治

TEL：045-924-1050

FAX：045-924-1055

(4) 事業の規模

資本金：3,000万円

工事の件数：4件

従業員：132名



登録範囲：本社・東京支社における
「環境調査及び計量証明事業」



(5) 使命と事業活動の内容

オオスミの使命

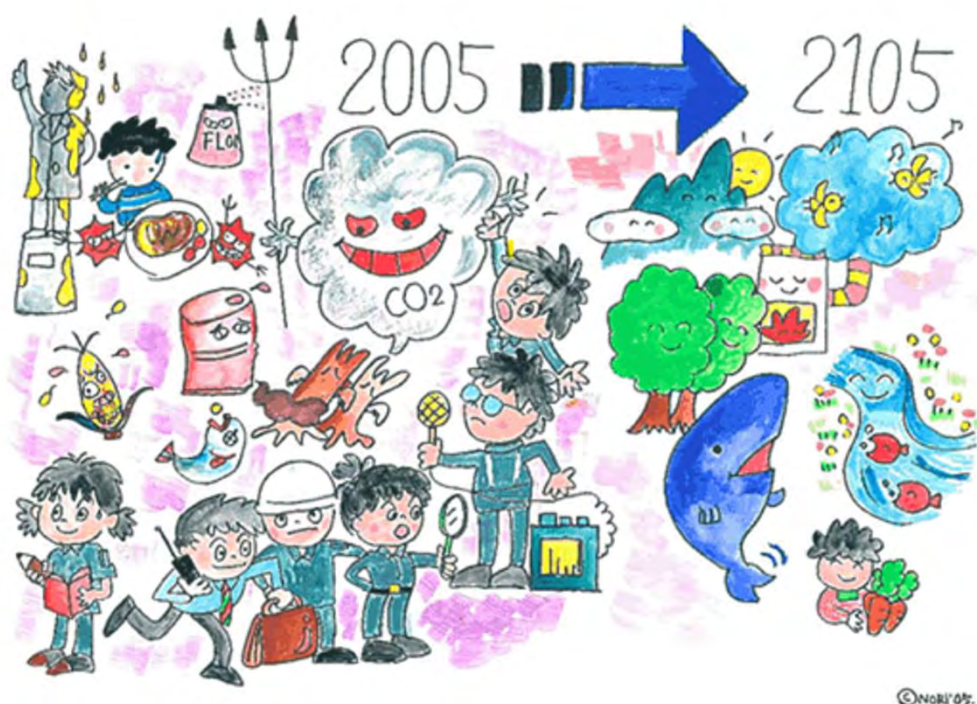
「私たちは地球に暮らす人々に
『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」

オオスミのコーポレートスローガン

「私たちは地球のドクター®」

100年後には公害や環境汚染が過去の話となるように、そのためには、現実を正確に知ること。真摯な姿勢で環境と向き合うこと。これが私たちの思いです。

オオスミは2005年に使命を掲げ、「日本だけでなく、世界の環境問題にも立ち向かう」という方向性を打ち出しました。私たちが培ってきた経験や技術を駆使して、これからも環境分野で貢献したいと考えます。



事業活動の内容

環境調査・分析・対策び企画・コンサルティング、各種環境セミナー
工業薬品販売、建設工事(汚染土壌除去工事)・材料解析

私たち「地球のドクター®」の仕事

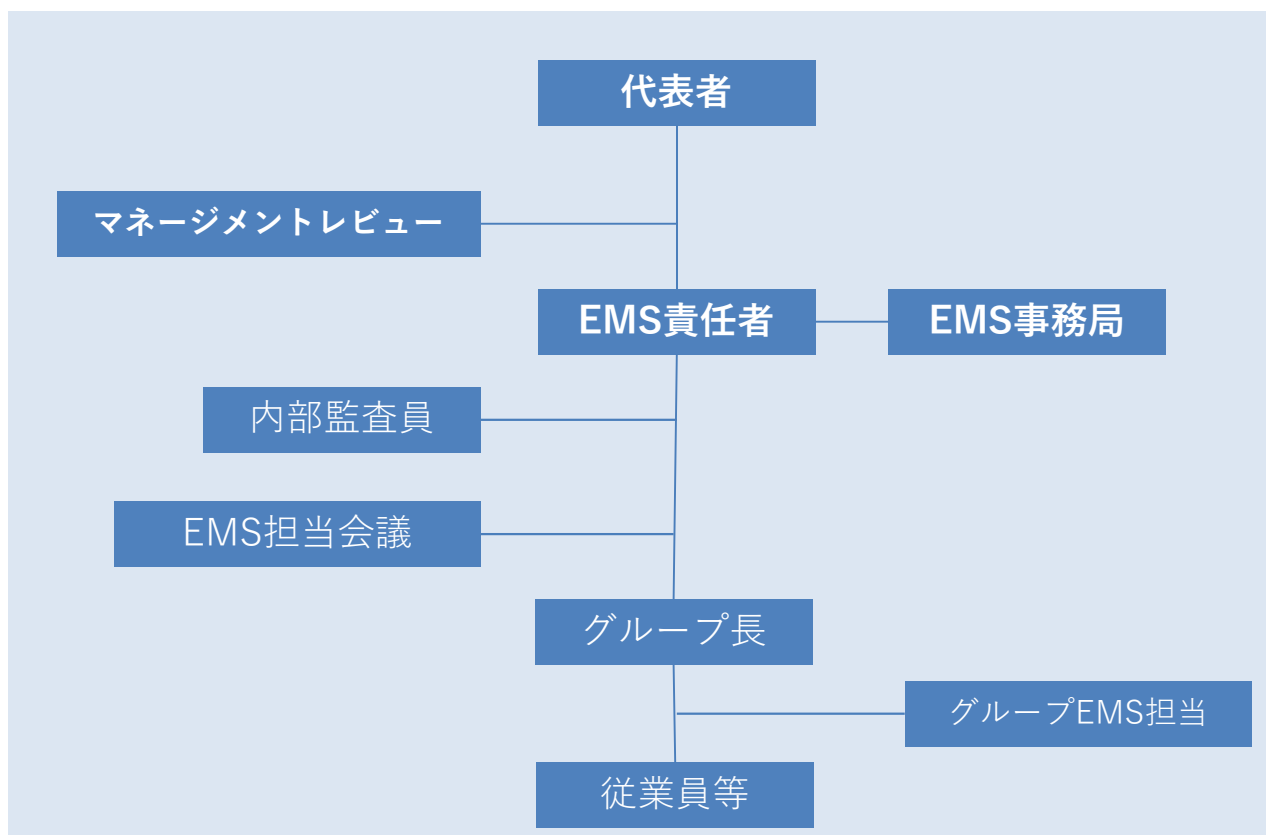
環境調査・分析・対策事業	コンサルティング・セミナー
水質、土壌、建設発生土、産業廃棄物、PCB	環境部長® (環境法令順守サポート)
アスベスト、ばい煙・排ガス、作業環境測定	エコアクション21認証取得支援
室内空気環境、省エネ、騒音・振動	省エネコンサルティング
悪臭、ドクター・スメルグッド® (ニオイの原因特定)	労働衛生コンサルティング
マイクロプラスチック、材料解析・異物分析	化学物質管理者講習
他	各種環境セミナー 他

私たちは地球環境を見守るプロフェッショナルです。

調査、測定、分析、コンサルティング、対策。
確かなプロセスを踏み、あらゆる環境問題への答えを探ります。



(6) エコアクション21組織図



(7) 各種許認可・登録

計量証明事業登録（濃度） 神奈川県第18号

計量証明事業登録（音圧レベル） 神奈川県第29号

計量証明事業登録（振動加速度レベル） 神奈川県第11号

作業環境測定機関登録 神奈川労働局14-18

建設コンサルタント登録（土質及び基礎部門） 建03第9793号

土壤汚染対策法に基づく指定調査機関登録<環境省> 指定番号 2020 -3- 1017号

建築物飲料水水質検査業登録 横浜市R5水第0002号

建築物空気環境測定業務登録 横浜市R4空第0025号

毒物劇物一般販売業登録 第51150012号（本社）・第09510065号（大和支店）

一般建設業許可（土木工事業、石工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、解体工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業）神奈川県知事 許可（般-3）第84595号

ISO9001：2015/JIS Q 9001:2015 登録番号4909（本社・東京支店）

エコアクション21 認証・登録番号0010719

オオスミ環境方針

1. 私たちは使命※を掲げ、仕事を通して顧客及び地球環境に貢献します。
2. 私たちは環境や安全に関する法令や決まりごとを順守し、環境汚染の防止と環境負荷の低減を図り、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、カーボンニュートラルに取り組みます。
3. 私たちは、オオスミで働く全ての人が環境への高い意識を持ち続け環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動します。

2022年11月1日

株式会社オオスミ

代表取締役 大角 武志

※ 使命：「私たちは 地球に暮らす人々に
『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」



3. 中長期環境目標（全社）

56期～58期の中長期目標

環境目標	基準年 (55期実績)	56期 (目標：基準年1%削減)	57期 (目標：基準年2%削減)	58期 (目標：基準年3%削減)
	2022年11月～2023年10月	2023年11月～2024年10月	2024年11月～2025年10月	2025年11月～2026年10月
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大(全社売上計画100%遂行)		100%	100%	100%
1-(2)「省エネ」等環境改善に繋がる売上計画100%遂行		100%	100%	100%
2-(1)化学物質の適正管理	分析内容ごとに化学物質の使用量は決められているため、削減目標数値は設定せず適正管理活動の計画を目標とする。			
2-(2)廃棄物の適正管理	当社は環境計量証明業であり、分析に必要な量を減らす目標設定は合理性を欠くため、適正管理活動の計画を目標とする。			
2-(3)-①紙の使用量の削減	4,382kg	4,338kg	4,294kg	4,251kg
2-(3)-②水使用量の削減	2,646m ³	2,620m ³	2,593m ³	2,567m ³
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」	水質事故「0」	水質事故「0」	水質事故「0」
2-(5)CO ₂ 排出量※	78,739kg-CO ₂	77,951kg-CO ₂	77,164kg-CO ₂	76,376kg-CO ₂
2-(5)-①電力使用量の削減	538,439kWh	533,055kWh	527,670kWh	522,286kWh
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	1,135Nm ³	1,124Nm ³	1,112Nm ³	1,101Nm ³
2-(5)-③ガソリン使用量の削減	18,951L	18,761L	18,572L	18,382L
2-(5)-④軽油使用量の削減	6,303L	6,240L	6,177L	6,114L
2-(6)グリーン購入の推進	50.9 %	51.4 %	51.9 %	52.4 %
2-(7)工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮
3.環境に関する取組の向上	・ ホームページPR ・ 社内外の教育訓練 ・ 環境関連施設の見学 ・ 社会貢献活動への参加 ・ 環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ・ エコにつながるオオスミ風呂敷を皆で活用する ・ 客先訪問時のPR実施 など			

備考：※購入電力の二酸化炭素排出係数は、本社はみんな電力（平成30年度）0 k g - C O₂、東京支店は東京電力エナジーパートナー(株)（平成30年度）の0.468 k g - C O₂を使用しています。

4. 環境目標とその実績

凡例：○：目標達成 △：目標達成率が95%以上100%未満 ×：目標未達成（達成率95%未満）

環境 目標	取組みとその評価（2023年11月～2024年10月）		
	目標 56期	実績 56期	達成区分
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大 （全社売上計画100%遂行）	100%	97%	△
1-(2)「省エネ」売上計画100%遂行	100%	64%	×
2-(1)化学物質の適正管理	・化学物質勉強会実施 ・危険物倉庫導入 ・化学物質のリスクアセスメント実施 ・作業環境測定の実施	・化学物質勉強会実施 ・危険物倉庫導入完了 ・化学物質のリスクアセスメント実施 ・作業環境測定の実施	○
2-(2)廃棄物の適正管理	・廃棄物勉強会実施 ・産廃置場定期巡回実施	・廃棄物勉強会実施 ・産廃置場定期巡回実施	○
2-(3)-①紙使用量の削減	4,338kg	3,810kg	○
2-(3)-②水使用量の削減	2,620m ³	2,646m ³	△
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」	水質事故「0」	○
2-(5)CO ₂ 排出量※1	77,951kg-CO ₂	76,843kg-CO ₂	○
2-(5)-①電力使用量の削減	533,055kWh	549,619kWh	△
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	1,124Nm ³	1,030Nm ³	○
2-(5)-③ガソリン使用量の削減	18,761L	18,867L	△
2-(5)-④軽油使用量の削減	6,240L	6,167L	○
2-(6)グリーン購入の推進	51.4 %	50.0 %	△
2-(7)工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	○
3.環境に関する取組みの向上	・ホームページによる環境活動のPR ・社会貢献活動 ・環境社会検定試験※2（e c o 検定） [®] 全員受験 ・ゴミ拾いアプリ「ピリカ」の活用	・ホームページによる環境活動のPR ・各グループ社会貢献活動を行った ・環境社会検定試験（e c o 検定） [®] 全員受験のため情報を発信 ・ゴミ拾いアプリ「ピリカ」を活用し 定期的に清掃を行った	○

備考：※1：購入電力の二酸化炭素排出係数は、本社はみんな電力（平成30年度）0 k g - C O₂、東京支店は東京電力エナジーパートナー（株）（平成30年度）の0.468 k g - C O₂を使用しています。

※2：環境社会検定試験（e c o 検定）[®]は東京商工会議所の登録商標です。

5. 環境目標活動計画及びその取組み結果と評価・次年度の取組み

(1) 事業を通じた環境貢献

オオスミは地球に暮らす人々の『安全』と『安心』のため、仕事を通じてお客様及び地球環境に貢献することを目指し、水や大気・土などの環境調査・分析・対策を行っています。中でも、お客様の環境負荷低減に繋がるサービスについて取組み目標を決め継続的に活動しています。

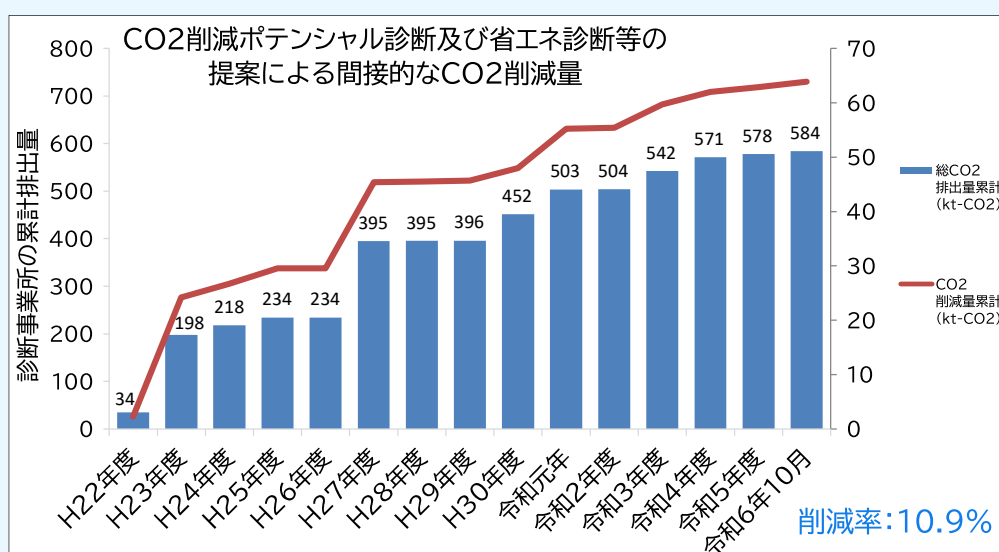
省エネ業務及び環境改善につながる案件等の受注拡大

環境改善や省エネコンサルティング業務の受注拡大を目指し、企画・提案力の強化に取り組みました。また、お客様の環境改善に寄与する取り組みとして、10回以上の無料環境ウェビナーを開催しました。

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
1	省エネ業務及び環境改善につながる案件等の受注拡大	全社目標	・目標に3%足りませんでしたが、『非化石証書・クレジット代理購入サービス』や『エコアクション21認証・登録支援業務』など、企業の環境や脱炭素への取り組みのサポート業務を開始しました	△	・全社売上計画の遂行
		各グループの取組み	■目標達成 ・土壌汚染対策工事の浄化土量 ・無料環境ウェビナーを年10回以上開催 など ■目標未達 ・環境改善につながる案件受注拡大	△	・省エネコンサル業務受注により、地球温暖化防止への貢献 ・環境改善の啓発活動として、ウェビナー年10回開催 ・土壌汚染対策工事の浄化土量増 など

間接的なCO₂削減量の算出の取組み

オオスミが行っている、CO₂削減ポテンシャル診断及び省エネ診断等の提案による間接的なCO₂削減量の算出を行っています。令和6年10月までに削減したお客様のCO₂排出量は、累計で63.9kt・CO₂となり、削減率は10.9%です。



(2) 自社の主な環境活動

私たちは、環境調査・分析・対策などの事業活動において、環境や安全に関する法令や規則を順守し、環境汚染の防止及び環境負荷の低減を目指して目標を設定し、継続的に取り組んでいます。

① 化学物質の適正管理

ばく露防止などに関する適切な措置を実行するため、化学物質のリスクアセスメントを実施しました。



環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
2-(1)	使用化学物質の種類と量の把握及び適正な保管状況の維持	試薬管理システムの適正運用	試薬管理システムを活用し指定数量を管理した	○	試薬管理システムの適正運用
		化学物質のリスクアセスメント実施・見直し	化学物質のリスクアセスメント実施・見直し		化学物質のリスクアセスメント実施・見直し
		勉強会・消防訓練の実施	化学物質、労働安全に関する勉強会を実施 消火器設置場所の確認を訓練として実施		勉強会・消防訓練の実施
		定期的な作業環境測定	年2回実施した		作業環境測定の実施

② 廃棄物の適正管理

『産業廃棄物及び資源の分別ルールブック』を作成し、分別の明確化および徹底を図り、減量化の取り組みを推進しました。



環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
2-(2)	廃棄物の適正管理	定期的な巡回 廃棄物置き場の整備 ルールブックの活用 分別の明確化及び徹底により、ゴミの減量化の取り組みを推進する	定期的な巡回 廃棄物置場及び特管倉庫内整備実施 廃棄物の分別教育の実施 使用済みユニフォームの繊維リサイクルの実施	○	廃棄物置き場の整備と管理を継続的に行う リサイクル分別の明確化及び徹底し、ゴミの減量化に努める

『資源と廃棄物 分別ルールブック』の活用

法を守り、廃棄物の発生を抑え持続可能な資源を未来に繋げること、また社内の廃棄物の困りごとを解決するために『資源と廃棄物 分別ルールブック (本社版)』を作成しています。不要物を、どこでどのように廃棄すべきか、また廃棄後の処理内容やその費用について、明確に把握できるようになっています。

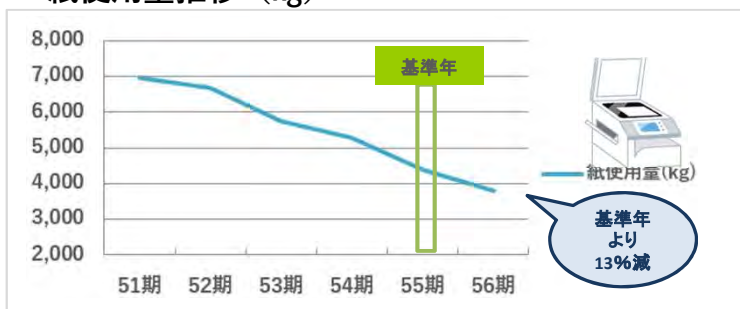


③ 資源の効率的活用

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
2-(3)	資源の効率的利用	①紙使用量の削減 グループ間においてDWの活用によるペーパーレス化推進などグループごとの活動を水平展開する	・精算システムの切り替えによる紙の削減 ・チャート類の電子保管 ・DW活用会議開催 FAX紙の電子化を実施	○	グループ間においてDWの活用によるペーパーレス化推進などグループごとの活動を水平展開する
		②水使用量の削減 節水に取り組む 排水、雨水の利用を行い、水道水使用を低減する	・雨水利用の検討を行ったが実現できていない	△	・節水に取り組む ・排水、雨水の利用を行い、水道水使用を低減する

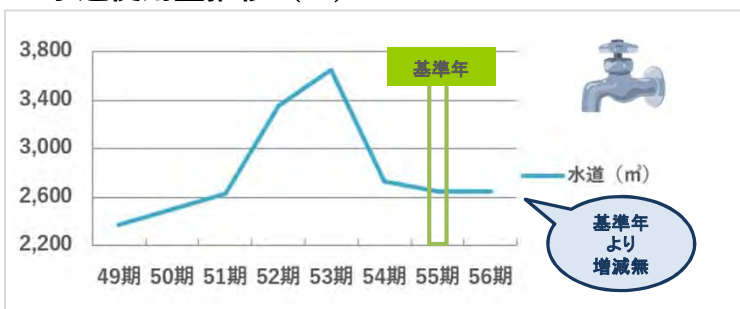
※DW：電子文書と電子化した紙文書の一元管理システム

紙使用量推移 (kg)



主に成果品としての報告書や控え、チェック・記録などに紙を使用しています。システム化や保管方法の改善、ダブルモニターの導入、報告書の電子化などを活用することで、51期以降、紙の使用量は継続的に減少しています。

水道使用量推移 (m³)



主に環境分析業務で水道水を使用しています。49期から毎年使用量が増加していましたが、冷却水循環装置の導入等により54期、55期ともに減少、55期から56期は横ばいでした。

④ 排水処理装置の維持・運用

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
2-(4)	排水処理装置の維持・運用	日常及び定期管理 基準超過0件 水質事故0件	基準超過、水質事故共にゼロ 	○	日常及び定期管理をする 基準超過0件 水質事故0件

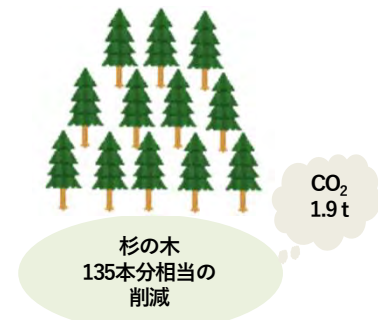
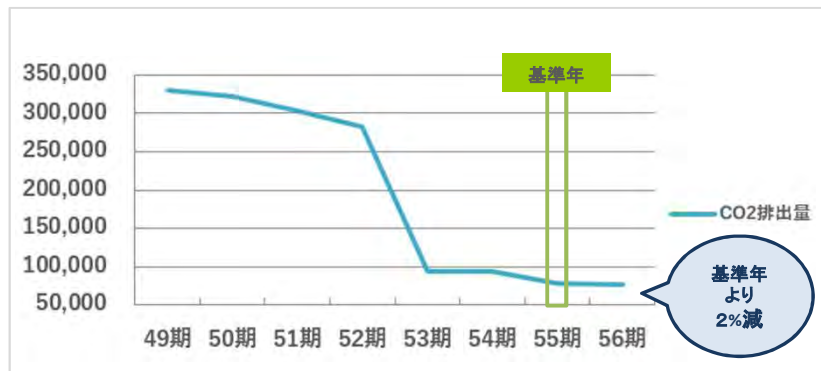
12/22 56期

⑤ CO₂排出量の削減

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
2-(5)	CO ₂ 排出量の削減	①電力使用量の削減	エアコンフィルタ定期清掃 月2回の社員一斉退勤時の電力の削減	△	エアコンフィルタ定期清掃 高効率設備への更新による削減 オンデマンド化の検討 月2回以上の社員一斉退勤時の電力の削減
		②化石燃料消費量の削減 ・都市ガス/ガソリン/軽油	エコドライブの啓発・実施 燃費の見える化	△	エコドライブ啓発活動の継続 電気自動車の導入・運用検討
		③CO ₂ 排出量	・省エネ業務におけるCO ₂ 削減提案量(t/CO ₂ /年)を10%以上削減とする ・CO ₂ 排出量の見える化	△	・CO ₂ 排出量の見える化

CO₂排出量 (kg-CO₂)

53期に行った太陽光発電の導入、風力発電所を指定した電力の供給により、本社は『再生可能エネルギー100%』となりました。基準年(55期)と比較して56期はCO₂排出削減量1,896kg-CO₂、削減率2%！杉の木換算約135本分のCO₂削減効果となりました！今後は全社で再生可能エネルギー100%を目指します。



電力供給

発電所を指定して電力供給を受けることのできる会社と契約し、秋田県八峰町峰浜風力発電所からの電力の供給を受けています。

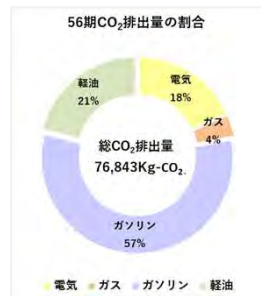


太陽光発電

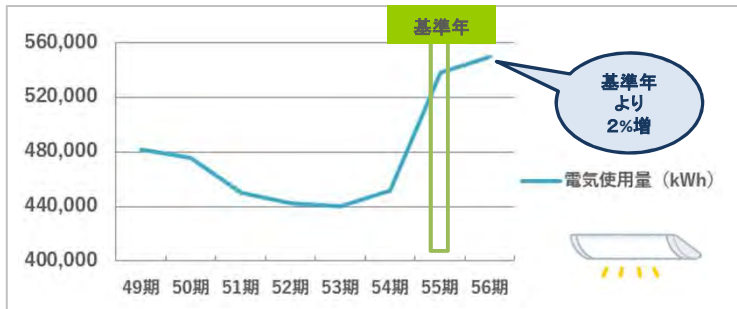
53期に本社屋上に太陽光発電装置を設置しました。56期に関しては本社で使用する電力の約8.1% (44,731 kWh) が自家発電で賄えました。



各種エネルギー使用量の推移

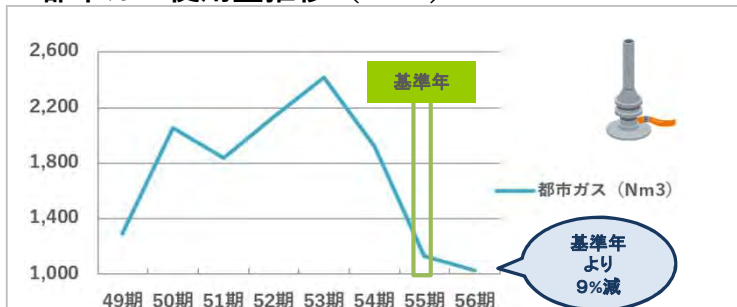


電気使用量推移 (kWh)



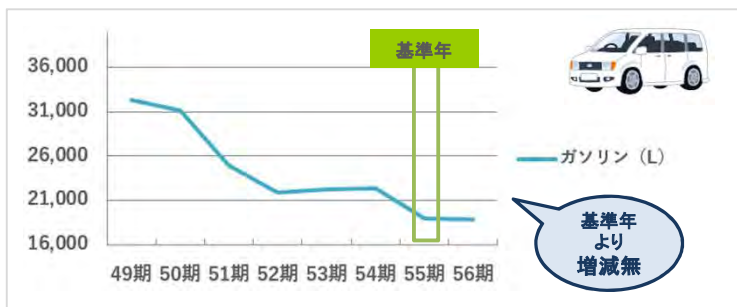
本社敷地内に建設中の新ラボ棟が55期より本格稼働しました。本社棟の照明のLED化や高効率設備への更新、センサーライトへの変更などによる削減等を行い本社棟の使用電力は削減出来ましたが、**全体の電気使用量は基準年より2%増加しました。**引き続き、使用量の削減に努めます。

都市ガス使用量推移 (Nm³)



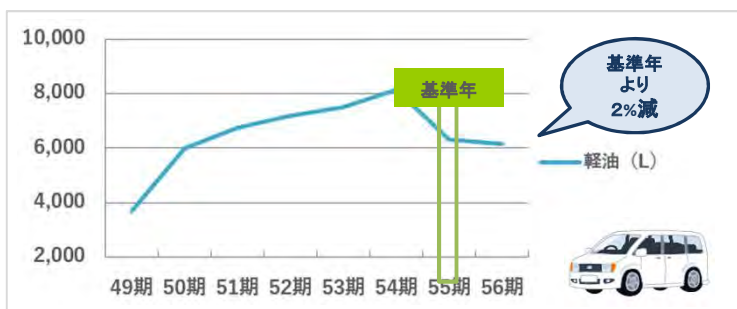
新ラボ建設に伴い**分析装置の電気化**を行ったため、大幅に使用量が**減少**しました。

ガソリン使用量推移 (L)



49期から社用車の相乗り、アイドリングストップ、ハイブリット車への変更、ノーカーデーの実施等の施策により、順調に使用量が**減少**しました。

軽油使用量推移 (L)



49期からの使用量の増加の主な要因は、遠方における調査が増加し、移動距離が増加したと推測します。56期については、遠方における調査が減少したと推測します。

⑥ グリーン購入の推進

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
2-(6)	グリーン購入の推進	グリーン購入の啓発・実施	・グリーン購入の全社啓発	○	グリーン購入の啓発・実施

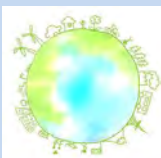
⑦ 工事現場における環境配慮の徹底

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
2-(7)	工事現場における環境配慮の徹底	工事現場での環境配慮	現場での発生ゴミの適正分別、及び、低騒音型重機を採用	○	建設現場での環境配慮

(3) 環境に関する取組みの向上

オオスミで働く全ての人が環境への高い意識を持ち続け、環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動することを目指しています。これまで行ってきた持続可能な環境や社会に向けた様々な環境活動の一部をご紹介します。

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(57期) 取組み内容
3	環境に関する取組みの向上	各グループ・全社による社会貢献活動 環境社会検定試験（eco検定） [®] 全員合格	各グループ社会貢献活動を実施（p16～18 環境への取組み 参照） 環境社会検定試験（eco検定） [®] 合格率『85.3%』	○	社会貢献活動の継続 環境社会検定試験（eco検定） [®] 全員合格



オオスミでは、働く全ての人が常に環境への高い意識を持ち続け、多様化する環境に関する知識を深める機会として、『環境社会検定試験（eco検定）[®]』の学習・取得を推奨し、全社員合格を目指しています。

**環境社会検定試験（eco検定）[®]は合格率『85.3%』
合格者数93名^{※56期末時点}となりました。**

引き続き、全社員合格に取り組みます！

環境への取組みー 1

SNSを使用したごみ拾い活動

ピリカというごみ拾いアプリを活用したごみ拾い活動を行っています。

SNSでごみを拾った記録を投稿して共有すると、拾ったごみが世界で拾われている量に

加算され、感謝の「いいね」が飛び交います。海岸清掃、会社周辺の清掃、自宅から会社までの道などで活用しています。



畑プロジェクト

会社近くの畑を借りて皆で楽しみながら季節の様々な野菜を育てています。オオスミとして食について考える新たな機会を広げています。



プラスチック製クリアファイル『購入量0』活動！

オオスミでは『脱プラスチック』活動の一環として、事業活動で使用するプラスチック製の『クリアファイル購入量を0にする』取組を行っています。

紙製等の代替品を使用するルールを決めたところ、活動開始から約2年半で95%のクリアファイル購入量を削減することができました。



SDGsフェイスイベントを開催

ロックフェスのようにSDGsを叫んで伝える『ラウド&ピース』を開催。環境の為に活動するゲストスピーカーによるプレゼンや、ディスカッション等を行いました。いろんな方の視点から知ることができ良かったなど、嬉しい言葉をいただきました。

第一回テーマ：「食と環境」

第二回テーマ：「ごみ問題」

第三回テーマ：「炭素を出さない生き方・働き方」



環境マガジンゼロ・クロニクルの発行

オオスミでは、『日本の脱・プラとゼロ・ウェイストに貢献したい』との想いで、環境マガジンZERO CHRONICLEを夏至と冬至の年回発行しています。

2024年12月に第11号を発行しました。



『生物多様性のための30by30アライアンス』への参加

生物多様性の損失を食い止め回復させるというゴールに向け作られた環境省によるプロジェクト『30by30』オオスミとして出来ることは無いかと考え、「生物多様性のための30by30アライアンス」にメンバー登録しました。有志が集まり、生物多様性の保護事業に取り組むための勉強会&話し合いを行いました。



環境への取組みー 2

外周清掃

毎月1回本社の外周清掃を実施しています。地域住民の一員として、よりよい環境づくりに貢献したいと考えています。



環境絵画展

～私たちの未来の地球を守ろう～

小中学生を対象に未来の地球環境を守るための方法や未来の姿の絵画を募集し、優秀賞は外周のフェンスに提示しました。



使用済み切手の寄贈を行っています

オオスミでは郵便物の使用済み切手の回収を行い「公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会」へ寄贈活動を行っています。

収集した切手は、海外の保健医療事業向上のために役立てられています。

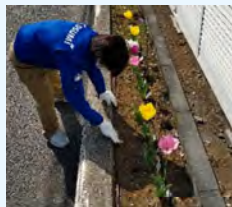


本社外周を緑化！

～自然と触れ合う歩道～

オオスミ本社外周フェンス及び植え込み部分を利用し、自然と触れ合える花壇をつくりました。みんなで育てた苗を含め、チューリップ、ハウセンカ、ジニア、マリーゴールド、アサガオ、アジサイ、フウセンカズラ、金魚草などを植えました。

引き続き、明るい雰囲気の道づくりをすすめていきます。



プロボノ活動 @濱橋会

環境分析の専門技術で社会に貢献するプロボノ活動(専門性を活かしたボランティア活動)を行っています。当社が参画している横浜都心部のまちづくりNPO法人



HamaBridge濱橋会の「大岡川の水を徹底的に綺麗にするプロジェクト」では定期的に水質調査を行い、勉強会で環境調査・分析に関する講師を務めるなど、環境改善の「わ」を広げる活動を行っています。

目黒町公園の清掃活動

本社前にある目黒公園の草刈りと清掃活動を行っています。ひと月に1週間清掃の週を決め、昼休みの時間を使って活動しております。

特に夏の時期には草刈り機も使ってみっちり活動しています！



水のふるさと道志の森基金への寄付をおこなっています

オオスミ本社の飲料用自動販売機の売り上げの1%が『水のふるさと道志の森基金』に半年に1回寄付されます。

『水のふるさと道志の森基金』は、道志の森を再生させる活動である『道志ボランティア事業』に活用されています。



川の生態を再現したアクアリウム

地域の自然を知っていただきたいと、川の生態を再現したアクアリウムを受付近くに設置しています。



環境への取組みー 3



資源循環に向けた取り組み

◆資源循環の取り組みを促進する『アスクル資源循環プラットフォーム』に登録し、使用済みクリアホルダーのリサイクルを行いました。



◆使用済みユニフォームを回収し、適切にリサイクル処理を行っている企業と契約し、使用済みユニフォームのリサイクルを行いました。



計量証明書（分析結果報告書）はFSC認証紙を使用

お客様からお預かりしたサンプルの分析値を報告する計量証明書（分析結果報告書）に使用する紙は、森林の管理が環境や地域社会に配慮して適切に行われているFSC認証紙を採用しています。



お客様向け環境Webinarの開催

環境関連分野の知識習得や技術の向上、新入社員教育や他部署から異動してきた方のための専門教育として等、外部の方向けにオオスミ環境Webinarを毎月開催しています。

【セミナー例】

- ・事業所の環境法令対策セミナー
- ・臭気のトラブル対策セミナー
- ・温対法&省エネ法対策セミナー
- ・アスベストのリスクセミナー
- ・労働衛生セミナー
- ・建設工事に伴う環境調査<基礎講座>
- ・化管法<PRTR制度>対策セミナー
- ・大気汚染防止法対策セミナー
- ・騒音・振動規制法対策セミナー など



次世代を担う子供達を支援する活動

環境教育の一環として、海岸でプラスチックごみを拾い、その重さを競うプラスチックゲームを行う体験学習や、企業が抱える環境問題について考える職業講和、プラスチック問題講義・分析体験を交えた訪問学習など、保育園児から高校生まで、次代を担う子どもたちを支援する活動を行っています。



オオスミのSDGsへの取り組み

私たちは地球のドクター



「私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」

をミッションとし、地球環境問題の解決に貢献することを目指しています。

私たちは、SDGsをミッションを果たすための中間指標とし、
全社員で目標を定め、オオスミの強みを活かすことで、持続可能な環境や社会の構築に貢献します。

オオスミの事業を通じたSDGsの貢献

サービス (調査・分析・コンサルティング)	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	6 安全な水とトイレを 世界中に	7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに	8 働きがい、 経済成長	11 住み続けられる まちづくりを	12 つぎの世代 につぐ資源を 持続的に	14 海の豊かさ を守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナーシップ で目標を達成しよう
水(水質調査・分析)	○	○	○			○	○	○	○	○
土(土壌調査・分析)	○	○	○			○	○	○	○	○
産業廃棄物(調査・分析)	○	○	○			○	○	○	○	○
大気	○	○	○			○	○			○
悪臭・におい	○	○	○			○	○			○
騒音・振動	○	○				○				○
PCB	○	○				○	○			○
アスベスト分析	○	○				○	○			○
マイクロプラスチック	○	○	○				○	○		○
環境アセス	○	○	○			○		○	○	○
自然環境	○	○	○			○		○	○	○
環境・省エネコンサルティング	○	○	○	○	○	○	○			○
労働安全衛生	○	○			○					○
異物・材料分析		○			○		○			○
海外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ロゴ 目標	オオスミのサービスとビジョン		
3 すべての人に 健康と福祉を	・水（水質調査・分析） ・土（土壌調査・分析） ・産業廃棄物 ・大気 ・悪臭・におい ・騒音・振動 ・環境・省エネコンサルティング	・PCB ・アスベスト調査・分析 ・マイクロプラスチック ・環境アセス ・自然環境 ・労働安全衛生 ・海外	各種公害系環境保全事業（大気、土壌、水質調査等）を通じて環境の現状、並びに潜在的な汚染の把握を行います。また対策工事の実施により、さらなる環境の改善や汚染の拡大を未然に防ぎます。
4 質の高い教育を みんなに	・セミナーの開催		企業や民間向けに各種セミナーや勉強会を開催し、環境面におけるリスク回避や新たな価値の創造を展開していきます。また海外からの技術者を受け入れ、技術指導、技術移転を図ることで、各国における環境改善を促進し、持続可能な社会の構築に貢献していきます。
6 安全な水とトイレを 世界中に	・水（水質調査・分析） ・土（土壌調査・分析） ・産業廃棄物 ・大気 ・悪臭・におい ・環境・省エネコンサルティング	・マイクロプラスチック ・環境アセス ・自然環境 ・海外	世界中の誰もが安全な飲料水を手に入れることができるよう、工場排水の調査、分析を行うとともに、センサー技術を活用した水質監視システムを構築、展開していきます。また持続可能な水資源の利用を実現するため、水源地を含む一般環境水質の改善に取り組んでいきます。
7 エネルギーもみんなに とくなく	・環境・省エネコンサルティング ・海外		事業所の省エネ調査において、設備更新のみならず運用改善等の提案によりエネルギー効率化を推進します。また温暖化ガス削減の観点から、お客様に再生可能エネルギーへの転換も提案し、企業価値向上に貢献していきます。
8 働きがいも 経済成長も	・環境・省エネコンサルティング ・労働安全衛生 ・異物・材料分析 ・海外		環境部長 [®] を通じて、事業所における環境法令の順守状況を把握するとともに、さらなる環境負荷低減へ向けてお客様に寄り添い、より一層の企業価値向上のためのサポートを行います。また省エネ調査においては適切な設備運用を提案することで、最大の費用対効果を実現していきます。ゆあらば [®] や異物・材料分析では、お客様の品質、生産効率向上のため、様々な問題解決に向けて専門的立場からアドバイスを行います。労働環境については、特に東南アジアの諸国に対して、作業環境測定を通じて劣悪な作業環境の低減を展開していきます。
11 みんなが 住み続けられる まちづくりを	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・産業廃棄物 ・大気・空気調査 ・悪臭・臭気調査 ・放射線量率測定 ・環境・省エネコンサルティング	・騒音・振動調査 ・アスベスト調査 ・環境アセスメント ・自然環境調査 ・PCBコンサルティング ・海外	あらゆる技術を駆使して、レジリエントな社会の構築に貢献していきます。特に環境アセスメントに関しては廃棄物関連、並びに再生可能エネルギー関連の事業に着目し、常に最新の情報や技術を取得することで、お客様の要望に応じてまいります。建設工事や解体で発生した有害物質の含まれた土やPCBなどについても、適切な処理のため提案させていただきます。
12 つくることも つなぐことも	・水（水質調査・分析） ・土（土壌調査・分析） ・産業廃棄物 ・大気 ・悪臭・におい ・環境・省エネコンサルティング	・PCB ・アスベスト調査・分析 ・マイクロプラスチック ・異物・材料分析 ・海外	省エネ調査ではエネルギーの効率化と再生可能エネルギーへの転換を促進することで、持続可能な資源管理に貢献していきます。またLCAやSCOPE3の観点からも、様々なご提案をさせていただくことで、廃棄物や温暖化ガスの排出削減に貢献していきます。
14 海の豊かさ を増やす	・水（水質調査・分析） ・土（土壌調査・分析） ・産業廃棄物 ・環境・省エネコンサルティング	・マイクロプラスチック ・環境アセス ・自然環境 ・海外	特にマイクロプラスチック問題に着目し、最新の知見と技術に基づく改善提案を行うことで、海洋汚染の低減に貢献していきます。
15 陸の豊かさも 増やす	・水（水質調査・分析） ・土（土壌調査・分析） ・産業廃棄物 ・環境・省エネコンサルティング	・環境アセス ・自然環境 ・海外	生物多様性の確保、持続可能な自然資源の活用という観点から調査、提案をさせていただきます。
17 パートナーシップで 目標を達成しよう	・教育 ・各分野における調査、分析、対策工事		オオスミは「モノ」ではなく「コト」に対して最適な対応を実現するため、多岐にわたる専門分野の会社とパートナーシップを結び、各種課題を解決していきます。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

凡例：●：該当する ■：努力義務がある ○：適合 △内部調査にて不適合発覚、すでに是正済 ×：不適合

No	法令名称	判定	管理部署責任者	遵守状況確認・評価	
				チェック日	結果
1	環境基本法	●	総務グループ長	2024/10/25	○
2	化管法（PRTR法）	●	分析グループ長	2024/10/25	○
3	労働安全衛生法	●	総務グループ長	2024/10/25	○
		●電離放射線障害防止規則	分析グループ長	2024/10/25	○
		●有機溶剤中毒予防規則	分析グループ長	2024/10/25	○
		●特定化学物質障害予防規則	分析グループ長	2024/10/25	○
		●リスクアセスメント	総務グループ長	2024/10/25	○
4	毒物及び劇物取締法	●	分析グループ長	2024/10/25	○
5	消防法	●	総務グループ長	2024/10/25	○
	横浜市火災予防条例	●	総務グループ長	2024/10/25	○
6	高圧ガス保安法	■	分析グループ長	2024/10/25	○
7	フロン排出抑制法	●	総務グループ長	2024/10/25	○
8	地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）	■	総務グループ長	2024/10/25	○
9	エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法）	■	総務グループ長	2024/10/25	○
10	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	●	総務グループ長 調査第一グループ長 分析グループ長	2024/10/25	○
11	PCB廃棄物特別措置法	■	総務グループ長	2024/10/25	○
12	資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	■	総務グループ長	2024/10/25	○
13	容器包装リサイクル法	■	総務グループ長	2024/10/25	○
14	家電リサイクル法	■	総務グループ長	2024/10/25	○
15	小型家電リサイクル法	■	総務グループ長	2024/10/25	○
16	建築リサイクル法	●	調査第一グループ長	2024/10/25	○
17	自動車NOx・PM法	■	総務グループ長	2024/10/25	○
18	水質汚濁防止法（地下汚染含む）	●	分析グループ長	2024/10/25	○
	横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析グループ長	2024/10/25	○
19	下水道法	●	分析グループ長	2024/10/25	○
	横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析グループ長	2024/10/25	○
20	騒音規制法	●	総務グループ長	2024/10/25	○
21	振動規制法	●	総務グループ長	2024/10/25	○
22	悪臭防止法	●	総務グループ長	2024/10/25	○
23	土壌汚染対策法	■	総務グループ長	2024/10/25	○
24	生物多様性基本法	■	総務グループ長	2024/10/25	○
25	グリーン購入法	■	総務グループ長	2024/10/25	○
26	電気事業法	■	総務グループ長	2024/10/25	○
27	水道法	●	総務グループ長	2024/10/25	○
28	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	●	総務グループ長	2024/10/25	○

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

「当社の事業そのものが環境改善に寄与する」というモチベーションを維持・継続しており、環境経営システムは有効に機能していると考えます。

また、気候変動問題への取組みにおいては、中小企業版SBTを56期に申請しました。

全社目標達成率も重要であり、55期よりも電気使用量が増加しているため、その要因を検討する必要があります。電気、水道、ガソリンなどの使用量は、今後は微減か横ばいになることが想定されるため、新たな施策を考える必要があります。

今後は、CO₂排出量削減の具体策として、エアコンのオンデマンド化の検討やEV車、ハイブリット車の導入を進めます。まずは、本社駐車場に充電スタンドを設ける準備をします。

エアコンのオンデマンド化に関しては、複数の方法を検討しピークカットも実施します。結果的に、本社および東京支店のエアコン使用を効率化し、電力使用量の削減に向けた教育を実施します。

(2) 見直しの結果

①目標を達成できなかった商品もありましたが、課題が明確になったため、今後の活動につなげていきます。

②脱プラ活動の一環として、クリアファイル購入量0を目指す活動を開始し、年間購入量は300枚まで減少しました。
今後も購入量0を目指します。

③水の使用量については、雨水等の有効活用を検討しましたが、実現できませんでした。今後、他の方法を考えます。

④電力使用量は目標達成できず3%ほど増加しました。
一方、軽油の使用量は目標を達成しましたが、今後さらに負荷を減らす仕組みを検討します。